



250年振りの里帰り降臨！



江戸時代の

アイドル娘

笠森お仙が草加に



鈴木春信作「雨中夜詣」
(アダチ版画研究所作復刻版/福本伸二所有)

★「笠森お仙」が草加出身とする
書籍が7つもあった！！

- ★語り唄い継がれて・・・250年
江戸時代明和中期（1768年頃）～
- ～浮世絵（鈴木春信～喜多川歌麿）～
- ～書籍（大田南畝～喜多川守貞）～
- ～歌舞伎（平賀源内～河竹黙阿弥）～
- ～落語（円遊）～
- ～2018年・草加市制60周年

江戸文化歴史研究家が紹介するまち作り ～草加市制60周年記念特別講演会～

5月27日(日) 「250年振りの里帰り降臨「笠森お仙」」

- 共催： 「江戸の文化歴史を楽しむ会」・「草加市立中央図書館」
- 場所： 草加市立中央図書館4階多目的ホール ■定員： 100人（要整理券）
- 整理券： 5月7日（月）午前9時から草加市中央図書館2階事務室にて配布
- 時間： 13時00分開場・13:30分開演（15時00分終了）
- 講師： 「江戸の文化歴史を楽しむ会」会長 福本伸二

（講師紹介：江戸文化歴史検定1級。草加在住。春日部高校・早稲田大学教育学部・JTB出身）

《問合せ先》

◎草加市立中央図書館（住所）草加市松原一丁目1番9号（電話）048-946-3000
（アクセス）東武スカイツリー線「獨協大学前駅」下車、西口駅前ロータリーにあります

無料講演会



降臨する「笠森お仙」



大田南畝「飴売土兵」、国立国会図書館ウェブより

■河竹黙阿弥 (かわたけもくあみ)

江戸・明治時代を代表する歌舞伎狂言作家・河竹黙阿弥が、歌舞伎狂言「怪談月笠森」(早稲田大学演劇博物館蔵)において、主人公「笠森お仙」が草加出身と記述しています。

■初代三遊亭円遊 (えんゆう)

- 「笠森お仙」手毬唄を改作した「ステテコ踊り」を語り踊る。「笠森お仙」伝説を関東始め全国に広めた功労者。
- 明治落語の代表格。近代落語の祖・円朝の弟子。最盛期には1日36軒の寄席を持ったという人気者。大きな鼻で「鼻の円遊」、「ステテコの円遊」の名で呼ばれた。

■笠森お仙

江戸時代、**明和の三美人**の中でも、「笠森お仙」は、清楚で可憐で、江戸の男たちを虜にした美人娘でした。浮世絵や歌舞伎の題材に、また人形・タオル等、グッズになり、一世を風靡(ふうび)していました。まさに、江戸を代表する人気アイドルだったのです。

「笠森お仙」が、草加出身との文献が幕末から昭和に7点(飯塚友一郎「歌舞伎細見」、矢田挿雲著「江戸から東京へ」など)も存在します。特別企画展では、「笠森お仙」その姿を紹介します。(※大田南畝著「半日閑話」、国立国会図書館ウェブより)

共催・問合せ先

《企画内容問合せ先》

◎江戸の文化歴史を楽しむ会

(企画問合せ先) 講演者・会長 福本伸二

tokinotaiko.hikyaku.23@gmail.com

(携帯) 080-6551-0070



《講演会の状況問合せ先》

◎草加市立中央図書館

(住所) 〒340-0041

草加市松原一丁目1番9号

(電話) 048-946-3000

(アクセス) 東武スカイツリー線

「獨協大学前」駅下車、西口駅前ロータリーにあります